

蓮華会だより



参与会「蓮華会」

浄土真宗本願寺派
兵庫教区教務所
神戸市中央区下山手通8丁目1番1号
TEL.078-341-5949 FAX.078-341-8526

蓮華会総会と講演会

2024年7月28日、本願寺神戸別院にて蓮華会総会と講演会が開催されました。総会では、2023年度の会計報告と行事報告、さらに2024年度の予算案と行事計画の報告が行われました。出席者からの意見や質問も活発に飛び交い、非常に充実した時間となりました。

講演会は15時から始まり、特別ゲストとして桂春蝶師匠（落語家）と桂紗綾さん（朝日放送アナウンサー）をお迎えしました。まずは、桂紗綾さんが「正信偈・ひかりになった王子様」の朗読を披露しました。彼女の温かく力強い声が、会場に深い感動をもたらしました。桂紗綾さんは2008年にABCに入社し、幅広い年齢層から支持を得ている女子アナウンサーです。演芸番組をきっかけに落語に傾倒し、高座にも上がり、第10回社会人落語日本一決定戦で市長賞を受賞しました。

続いて、桂春蝶師匠が釋徹宗監修の「鏡の中の親鸞く歎異抄より」という演目を披露しました。彼のユーモアと鋭い洞察力が光る落語は、笑いと共に深い教訓を残しました。1975年大阪府生まれの桂春蝶師匠は、父である二代目桂春蝶の死をきっかけに、家業の道志し、1994年に三代目桂春団治入門しました。その後も多くの賞を受賞し、落語界での地位を築いています。

今回の講演会では、桂春蝶師匠の独特の話芸と桂紗綾さんの心に響く朗読が見事に融合し、出席者全員が感銘を受けました。今後も蓮華会では、皆様に楽しんでいただけるようなイベントを企画して参ります。ご参加いただいた皆様、誠にありがとうございました。

慶讃法要

5月16日（木）から19日（日）までの4日間、本願寺神戸別院において「兵庫教区・神戸別院親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要」が厳かに修行されました。この法要は、「ご縁を紡ぐ感謝の日、お念仏とともに歩む」をテーマに掲げ、「親鸞聖人のご誕生がなければ、今の私はなかった」との思いを込めて、次世代にご縁を紡いでいくことを目的として執り行われました。

多くの方々が参拝できるように、3階本堂と1階ホールに参拝席を設け、法要と記念法話は本堂で、縁儀と記念講演はホールで行われました。それぞれの会場の映像はモニターで中継され、4日間の総参拝者数は延べ2500人に達しました。法要では、新たに制定された「新制御本典作法」をお勤めし、1階ホールでの宿縁・重誓偈のお勤めから始まりました。楽人・教区参与会（蓮華会）会員・僧侶の縁儀列が雅楽の音色とともにホール



中央を進み、その後、会場を3階本堂に移して法要が続けられました。本法要では、教化・組織団体がそれぞれ工夫を凝らして協賛事業を実施しました。仏婦連盟と寺婦連盟によるコーラスの集い、門徒推進

ご挨拶

蓮華会会長 釋水正章



早春の候、皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

この度、光森常之会長よりバトンを引き継ぎ、2024年度から蓮華会の新しい会長に就任いたしました釋水正章です。これまでの光森会長のご尽力に深く感謝申し上げますとともに、今後とも会員の皆様とともに蓮華会の活動をさらに発展させてまいりたいと存じます。

蓮華会は、これまで青少年の健全な育成を支援するために、多くの活動を行ってまいりました。引き続き、次世代を担う若者たちの成長をサポートし、明るい未来を共に築いてまいりたいと考えております。

また、次年度より本願寺神戸別院の大規模修復工事が予定されております。外壁修復や本堂の修復、地下漏水防止など、長年の老朽化により必要な修復が急務となっております。この修復工事には多額の費用がかかるため、皆様のご協力とご支援が欠かせません。蓮華会としても、この修復工事に対する支援を積極的に行ってまいりますので、どうかよろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、今後とも蓮華会の活動にご理解とご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。御挨拶とさせていただきます。

令和6年能登半島地震により被災された皆さまに
衷心よりお見舞い申し上げます

浄土真宗本願寺派 兵庫教区・本願寺神戸別院

浄土真宗本願寺派 たすけあい運動募金「令和6年能登半島地震 災害義援金」受付先

1. 受付口座番号 ● 郵便振替 01000-4-69957
加入者名 たすけあい募金
- 銀行振込 銀行 ゆうちょ銀行 店名 一〇九(イチゼロキュウ)店
番号 当座 0069957 名義 たすけあい募金
※通信欄に「能登地震」とご記入のうえ、住所、連絡先、領収書名をご記入ください
2. 問い合わせ先 浄土真宗本願寺派伝道本部 社会部＜災害対策担当＞
TEL:075-371-5181 Mail:saigai-taisaku@hongwanji.or.jp

浄土真宗本願寺派 能登半島地震支援センター

支援物資受け入れやボランティア等、最新情報はこちらから確認ください

X(旧 ツイッター) <https://twitter.com/hongwanji247>
Instagram <https://www.instagram.com/hongwanji247/?hl=ja>



●入会（二〇二四年度）

（敬称略）

藤丸智雄	寺院	岡山南組	源照寺
篠崎正光	寺院	岡山南組	正善寺
秋田 清	門徒	多可組	浄福寺
内藤大介	企業	本願寺神戸別院	
矢木久雄	門徒	網干組	教蓮寺
本田眞一郎	企業	網干組	教蓮寺
福本康之	寺院	阪神東組	福円寺
藤田浩志	門徒	本願寺神戸別院	
(有)アオイサッシ鋼業	企業	赤穂北組	教證寺
マスヤ(株)	企業	本願寺神戸別院	
岡崎真子	門徒	本願寺神戸別院	

員による会場案内等のボランティア、少年連盟による宗派のグッズ紹介とお菓子のつかみ取り、保育連盟による会場のお飾り、ビハール兵庫のパネル展や矯正教化連盟兵庫教区支部のパネル展とキャピック展、青年僧侶の会では令和6年能登半島地震への募金活動、蓮華会主催によるスイーツ・産地直送野菜販売など、どの会場も賑々しく法要を盛り上げました。

蓮華会としても、この法要において多くの活動を展開し、参拝者の皆様に喜んでいただけたよう努めました。特に、スイーツや産地直送野菜の販売は大変好評で、多くの方々にご利用いただきました。また、蓮華会の会員が一丸となり、法要の運営やボランティア活動に積極的に参加し、成功裏に終えることができました。

教区内の僧侶・門信徒が一丸となり、50年に一度の大法要が円成したことは、私たちにあって大きな喜びであり、今後もこのような活動を通じて地域社会に貢献していきたいと考えております。

今後とも蓮華会の活動にご理解とご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

蓮華会 支援団体の活動報告

寺院子弟連絡協議会

寺院子弟連絡協議会の活動は、教区内の若手の寺院を対象にしている。しかし、ここ数年コロナ禍の影響により、思うような活動が出来ていなかったのが現状である。今年度は、昨年5月に「兵庫教区・本願寺神戸別院親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要」をお勤めしたことをご縁として、なんとか活動の活性化に繋げるようなイベントが出来ないかと、新たな取り組みとして、教区子ども・若者ご縁づくり推進委員会協力のもと「TERA mates Fes（テラメイツ フェス）」を実施した。「テラメイツ」とは、寺院子弟を対象にした新たなご縁づくり活動をイメージして作られた兵庫教区独自の名称。お寺の繋がりをワンチームと考え、一人一人がそのチームメイトとして繋がっていく・・・その繋がりが「テラメイツ」の考えるご縁づくりとなっている。

初めての開催となった今回は、学生なども参加しやすいように夏休み期間を利用して、8月19日（月）の午後からの開催となった。受付時間になると教区内より、未就学児から大学生を中心として33名の参加者が神戸別院へと集まった。



開会式の後、まず初めに参加者の緊張をほぐすためにアイスブレイキングとして、仲間づくりゲームを行った。その後は、子ども・若者ご縁づくりで開催しているフィンランド発祥のユニバーサ

ルススポーツである「モルック」を体験。初めて体験する参加者も多くいたが、真剣かつ楽しみながモルックを体験し、イベント後には、お寺で行うためモルックを購入する参加者もいた。

神戸別院での交流を終えたと会場を移し、懇親会（バーベキュー）を実施。懇親会の時間になるとすっかり仲良くなり参加者がそれぞれに近況報告や家族間同士の情報交換を行い、有意義な時間を過ごした。

少年連盟

少年連盟では、サマースクールを揖龍東組西福寺を会所として開催し、教区内より約50名の子どもたちが参加した。

当日は、夏の暑さが厳しい日となったが、受付の時間になるとリュックサックにたくさん荷物を入れた子どもたちが汗をかきながら、西福寺までの参道を駆け上って集合した。

開会式では、蟬の鳴き声に負けにくいくらいの大きな声でのお勤めが響き渡った。開会式を終えるとみんな仲間づくりゲームを行い、最初は初めて会った友だちと緊張しながらゲームをしていたが、ゲームを終える頃には班の子たちとすっかり仲良くなっていた。仲間づくりゲームの後は、班に分かれて夕食のカレー作り。カレー作りでは、仲間づくりゲームで獲得した「模擬通貨」を使用してみんなが持ち寄った野菜やお肉を購入し、様々なカレーが完成した。みんなは、自分たちが作ったカレーを口いっぱい頬張っていた。

2日目は朝6時に起床。眠たい目を擦りながらのラジオ体操の後は、『正信偈』をお勤め。みんな足が痛かったのか、お勤めが終わるとホッとした表情を浮かべていた。午前中は、金箔貼り体験や扇子作り、小銭入れ作りなどのクラフト体験の時間。みんなそれぞれの特徴を活かした世界に一つだけのクラフトが完成した。お昼ご飯は、西福寺の総代の皆さんにも協力していただき、流しそめん。長い竹から流れてくるそう



クール」や「震災支援報恩講子ども集い」などへの行事へも積極的に参画し、活動の場を広げている。

仏教青年連盟独自の活動として、会員交流会や研修旅行、研修会を開催。今年も10月14日に会員交流会を行い、会員はちらんのこと、会員の家族も参加してバーベキューを実施し、初めての参加者もいて交流の輪を広げることが出来た。

また、3月1日から2日には、鹿児島県への研修旅行を実施し、鹿児島別院への参拝や今年は戦後80年を迎えることもあり知覧特攻平和会館を見学した。

この他、力を入れている行事が、研修会の「学びと笑い」である。この研修会は、コロナ禍により思うように活動が出来なかった現状を何とか打破しようと始まったのがきっかけで、今年で3回目の開催となる。今年も、3月29日に開催。「学び」の講師は小池秀章さん。テーマは「仏さまは願いを叶えてくれない?」と題し、ご講演いただく。「笑い」では、吉本興業「近畿住みます芸人（タレント）」6組によるお笑いスペシャルライブを実施。当日は、豪華景品も用意し、ゲーム大会も予定している。

今後は、子ども会を卒業した高校生などへも積極的に声掛けを行い、更に活動の場を広げて、仲間づくりを通してみんなの「居場所づくり」に努めていきたい。

保育連盟

1月11日（土）、本願寺神戸別院1階ホールで「第



めんが箸の間をすり抜けるなど悪戦苦闘しながらも楽しみなが昼食の時間を過ごした。午後からは、場所を移しウォークラリーを実施。班員と協力しながら、用意された課題をクリアしていた。

サマースクール最終日は、ランドセルのセイバン工場を見学し、最後は、3日間お世話になった西福寺をみんなで大掃除を行い、サマースクールの全日程を終え、参加した子どもたちにとって忘れることのできない3日間となった。

青年僧侶の会

青年僧侶の会では、会員の研修および親睦を深めるために広島方面への研修旅行を実施した。

令和7年が、終戦80年の節目ということで、一泊二日の行程では本願寺広島別院の他に、広島平和記念資料館、原爆ドーム、呉市の大和ミュージアム等を加えた。

広島別院では、職員からの広島別院の沿革説明に加え、原子爆弾の投下により損傷した石碑や被災後に一面焼野原となってしまった土壌から芽吹いた被爆樹木のソテツなどを見学することが出来た。遠くからでも視認できる広島別院の大きな建物は、原爆

2回まことの保育連続研修会」が開催され、連盟以外の一般の方も含め、95名の参加者が集まった。今回の研修会は講演・演奏者として、シンガーソングライターの新沢としひこさんをお招きしての開催となった。

新沢としひこさんは保育講習会の講師や、ソロコンサート、児童文学の執筆や絵本を出版するなどマルチな才能をお持ちの方で、特に『さよならはくたちのようちえん』を作詞したことで有名な方です。

研修会では新沢さんが演奏する曲をただ聞くだけでなく、曲に合わせて参加者にも手足を駆使して体操のように全身を使って参加してもらう事で進化した。

講演会の中で新沢さんより「コロナで保育の先生と園児で手を繋いだり、だっこしたりの身体の不れあいがなくなってしまう。このふれあいは園児の成長にはとても大事な事なので今日の研修を通じて再び広めて欲しい」と思いを語っていただいた。10数曲の演奏の最中、演奏いただいた曲を基にした絵本がプロジエクターに投影され、より臨場感のある講演となった。

講演会の終盤は、特に有名な曲である『にじ』が披露され、最後は『さよならはくたちのようちえん』も演奏され、参加者は涙ながらに聞き入っていた。



今後も兵庫教区保育連盟として、研修会という場を通じて、連盟に所属する保育園、幼稚園、認定こども園の40園が協力や交流できる機会を提供できればと思います。